

2009年11月25日

グローバル COE プログラムの予算確保に関する要望書

東京大学 総長
濱田 純一

多くの問題が山積する我が国の教育界で、初等中等から高等教育に至る一貫した整備が望まれる中、大学生、大学院生の国際水準での力量を憂慮する声が少なくない。我が国の大学や大学院の学費は世界でも突出して高額であり、一方で学生への経済的支援は貧弱な状態に放置されてきた。グローバル COE プログラムは大学組織全体によって国際水準を満たす若者を育成すべしという国民の負託に応えるため、研究に重点のあった 21 世紀 COE プログラムを大学院博士課程教育の質的向上に重点を移して発展させ、平成 19 年度に発足した。

一方、我が国の経済成長を支えてきたのは産業技術であり、各企業での研究開発人材を供給し続けてきたのは、大学である。また、企業での応用研究を根底から支えてきたのも大学の基礎研究である。少子化に向かっている我が国が、今後とも世界の中で十分な競争力を確保していくためには、大学および大学院において国際的に第一級の力量を持つ研究者、技術者を育成することが不可欠である。欧米諸国においては、大学院教育は学生本人や研究機関の利益のためではなく、広く社会に貢献できるような高度な能力をもつ人材の育成を目指すものとして、公的に支援すべきものとされている。グローバル COE は、そのような研究者、技術者を育成するために、欧米などの先進国を中心とする国際水準ともいえる大学院生を支援する仕組みに近づけた施策である。

本来、このような教育プログラムは短期的な評価になじまないものであるが、21 世紀 COE 時代を含め 8 年間を通して見れば、顕著な効果が現れつつあると言っても過言ではない。多くの大学院学生が、国際的な有力学術誌に論文を発表し、著名な賞を受賞するなど目覚ましい業績を上げている。また、海外の有力大学との学術交流を契機としてその海外の大学院生が修了後、東大で研究したいという希望を持つようになり、また逆に東大の大学院生も交流相手の海外大学で研究を続けることを志すようになってきている。将来研究者を志す若者を、大学院博士課程院生という時期に、このように国際水準の研究現場や研究学会に触れさせることは、研究者として歩む今後のキャリアにおいて大きな自信となるとともに、国際的な研究者のコミュニティに入れることを意味しており、将来優れた研究者、技術者としての活躍が期待される。また、21 世紀 COE・グローバル COE での支援により、十分な能力がありながら経済的な理由から研究を断念せざるを得ないという者も減少した。さらには、多くの博士人材が研究者として大学や企業等に巣立っていつている。

このように、将来大きな効果が見込めるグローバル COE の予算を縮減し、教育研究活動水準を低下させることは今後の我が国の基礎研究、また産業への応用研究、ひいては国民の生活に重大な悪影響を与えることになると憂慮される。教育への投資を仮に低下させると 10 年後、20 年後を見据えると大きく影響が出てくるものであり、今回の事業仕分結果に基づく予算縮減が実行され、マイナス効果が認識されるようになったときには取り返しがつかないことになりかねない。短期的に見ても、高校生や大学生など若者が研究者、技術者を目指さなくなる恐れがある。自然資源が少なく、環境分野はもちろん、あらゆる学術分野で科学技術を中心に経済成長軌道を描かなければならない我が国としては、ようやく博士課程大学院生の支援という面で国際水準に近づけることを可能にしつつあるグローバル COE プログラムを、今までの予算水準以上で継続させることを強く望むものである。

【東京大学にあるグローバル COE の拠点名、および拠点リーダー】

「生体シグナルを基盤とする統合生命学」	宮下保司	医学系研究科機能生物学専攻教授
「理工連携による化学イノベーション」	中村栄一	理学系研究科化学専攻教授
「セキュアライフ・エレクトロニクス」	保立和夫	工学系研究科電気系工学専攻教授
「死生学の展開と組織化」	島菌進	人文社会系研究科基礎文化研究専攻教授
「共生のための国際哲学教育研究センター(UTCP)」	小林康夫	総合文化研究科超域文化科学専攻教授
「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」	岡芳明	工学系研究科原子力国際専攻教授
「疾患のケミカルバイオロジー教育研究拠点」	門脇孝	医学系研究科内科学専攻教授
「ゲノム情報に基づく先端医療の教育研究拠点」	清木元治	医科学研究所長
「都市空間の持続再生学の展開」	藤野陽三	工学系研究科社会基盤学専攻教授
「機械システム・イノベーション国際拠点」	光石衛	工学系研究科機械工学専攻教授
「未来を拓く物理科学結集教育研究拠点」	樽茶清悟	工学系研究科物理工学専攻教授
「数学新展開の研究教育拠点」	川又雄二郎	数理科学研究科数理科学専攻教授
「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」	岩村正彦	法学政治学研究科総合法政専攻教授
「ものづくり経営研究センター アジアハブ」	藤本隆宏	経済学研究科経営専攻教授
「次世代型生命・医療倫理の教育研究拠点創成」	赤林朗	医学系研究科健康科学・看護学専攻教授
「学融合に基づく医療システムイノベーション」	片岡一則	工学系研究科マテリアル工学専攻教授
「ゲノム情報ビッグバンから読み解く生命圏」	森下真一	新領域創成科学研究科情報生命学専攻教授

以上 17 拠点